

気まぐれ通信

2025-10-24

こんにちは！気まぐれ通信のページをご覧ください、ありがとうございます。
今回は、奥多摩町のイメージキャラクターである『わさぴー』と、サポート隊活動で『わさぴー』に会うためにはどうすればいいかについてご紹介したいと思います。



サポート隊活動は基本的に都内の山林で行うのですが、ごくたまに山林ではない場所で活動を行うことがあります。そんな時は、かわいいキャラクターに会えるチャンスかも…？



☆わさぴーとは・・・

奥多摩町のイメージキャラクターで、特産のわさびの形をしています。
頭についているかわいいお花は、町の花であるミツバツツジなのだそうです。



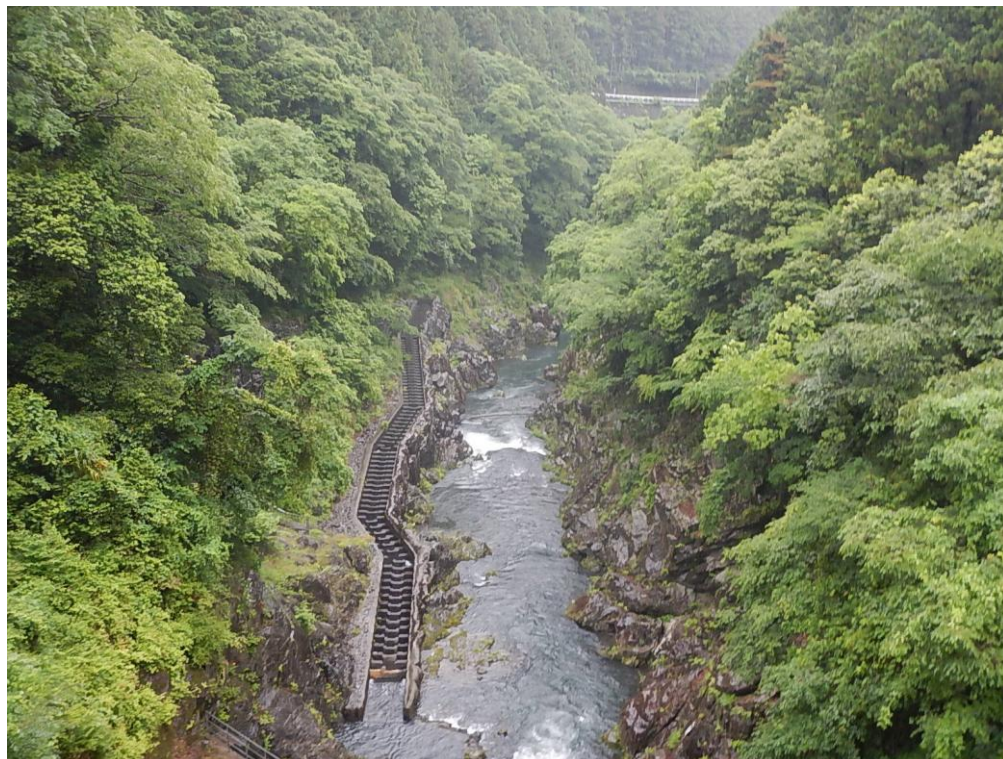
☆奥多摩町とは

まず『わさぴー』の紹介をしてしまいましたが、『わさぴー』がイメージキャラクターを務める奥多摩町は、東京都の市区町村の中で最も広い面積を持ち、小河内ダムや雲取山のある町です。多摩地域に3つしかない町のひとつなのです。

↓ 白丸ダム脇の山林の様子



↓ 雨の日の白丸ダムの魚道



さて、『わさぴー』に会うためにはおそらく奥多摩町へ行かなくてはならないけれど、きっと活動地の山林にわさびはあっても『わさぴー』はいないでしょう。



← 雨の日の活動地の様子

そこで登場するのが、サポート隊の雨の日プログラムです！

サポート隊の活動日に雨が降ると、普段通りの活動は行えないため、伐木講習や施設見学等に活動を切り替えます。



☆雨の日プログラムとは？

活動日に雨が降った時、森林整備活動の代わりに行うものです。活動拠点の日の出庁舎で伐木講習を行ったり、薪割りや木工作業をする回もありますが、施設見学をすることもあります。施設見学とは、林業に関係のある博物館等の施設（基本的に無料のところ）を車で回り、林業や森林整備に関する理解を深める活動です。

その中でも奥多摩町にある小河内ダムが見学コースに入っている場合、ダムに併設の施設『水と緑のふれあい館』も見学することができます。

そしてそして、その入り口には…。

わさぴー！！



奥多摩町のHPを見ると、どうも動いている生『わさぴー』も存在するようですが、これはなかなかお会いすることが難しいかもしれません。

しかしここ『水と緑のふれあい館』に來れば、全長およそ1メートル強の『わさぴー』に会うことができるばかりか、ショップで『わさぴー』グッズを購入することも可能なのです。森林整備活動を楽しみに参加された皆さんの中には、雨が降ってがっかり…という方もいらっしゃるでしょう。

そんな時には気持ちを切り替えて、今日はどんな体験ができるか？何を見に行けるか？に目を向けてみてはいかがでしょうか。

雨の日プログラムの施設見学には、様々なコースが考えられています。

古い小学校がそのまま見学コースになっていたり、

木材加工ができる施設、レアなところではヤギ牧場などもあります。

森林整備とはまた違ったわくわくした気持ちで、雨の日にもご参加いただければ嬉しいです。



☆編集後記

気まぐれ通信復活4回目は、だいぶ趣味に走った内容になってしまいました。
雨が降って残念…というメンバーの方に向けて、雨の日でもこんな面白い
プログラムがあるよ！という気持ちで書き始めたのですが…。
どんどん文字が増えていく様子から、熱意だけは伝えられたかと思います。

これは水と緑のふれあい館で
購入した『わさabee』グッズです。
スマホポーチと『わさabee』マスコット
※『わさabee』の顔の横にある
ピンバッジは白丸ダムで購入

